

議事要旨

会議名	平成30年度第4回芦屋中央病院評価委員会	会場	芦屋町役場 4階41会議室			
日時	平成30年11月29日(木) 午後6時00分～午後7時30分					
件名・議題	1. 開会 2. 議題 (1) 第3回評価委員議事要旨について (2) 中期計画(案)について (3) 第1期中期目標の期間の終了時の検討について (4) その他 3. 閉会					
委員等の出欠	委員長	山口 徹也	出	オブザーバー (病院)	櫻井 俊弘	出
	副委員長	松田 晋哉	欠	オブザーバー (病院)	井下 俊一	出
	委員	江川 万千代	出	オブザーバー (病院)	森田 幸次	出
	委員	貞安 孝夫	出	オブザーバー (病院)	竹井 安子	出
	委員	中山 顯兒	出	オブザーバー (病院)	檜田 房男	出
	委員	内海 猛年	出	オブザーバー (病院)	本村 智子	出
	事務局	藤永 詩乃美	出	オブザーバー (病院)	中野 悟子	出
	事務局	有田 昌子	出	オブザーバー (病院)	市村 修	出
	事務局	甲斐 智志	出	オブザーバー (病院)	坂本 林太郎	出
合意・決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回芦屋中央病院評価委員会の審議内容について、事務局より提示された議事要旨の確認を行い、公開について決議した。</li> <li>・中期計画(案)について、内容を確認した。中期計画に対する意見書については、書面審議で対応することを確認した。</li> <li>・第1期中期目標の期間の終了時の検討について、意見書のとおりとすることで合意した。</li> <li>・中期目標(案)について、前文の1ヶ所を変更することで、内容が適当であると合意した。</li> </ul>					

### ○議題（１）第３回評価委員会議事要旨について

- ・第３回評価委員会議事要旨の内容について、委員によって確認し、町のホームページでの公開について決議。

### ○議題（２）中期計画（案）について

- ・病院より、中期計画に対する委員からの意見について、病院の考え方を説明。
- ・資料２ 第２期中期計画（案）P15～17 収支計画、予算、資金計画について説明。

### 第２住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

#### １ 医療サービス

##### （１） 地域医療の維持及び向上

（委員） 病院の考え方のおりで良い。

（委員） 口腔ケアについて、「取組を強化する」という表現は強いのではないか。「充実させる」などの方が良いのではないか。

（病院） 「充実させる」に変更する。

##### （２） 在宅医療及び介護までの総合的なサービスの提供

（委員） カンファレンスの資料作りで、本来の介護や看護が粗末にされると、本末転倒なため、法的に必要なものでない限りは、簡易なもので良いと思う。

#### ２ 医療の質の向上

##### （１） 医療従事者の確保

（委員） 医師事務作業補助者数が 29 年度実績の 1 名から、2022 年度目標では 7 名になっているが、基準として適正な人数か。

（病院） すべての診療科に配置すると足りないが、段階的に業務量の多い診療科から配置している。

##### （４） 第三者評価機関による評価

（委員長） ここで言うピットフォールとは隠れた落とし穴という認識で良いか。

（病院） そのように認識した。

（委員） 内部監査を外部の第三者が見たときに、監査した結果が伝わるのか。外部の第三者が意見を述べることはないのか。

（病院） 内部監査は、ISO9001 の必要条件であるが、それとは別に審査員の資格を持った方が審査をする外部審査を年に 1 回受ける。内部監査と外部審査で PDCA が回るような仕組みになっている。

（委員） 外部審査の際に、内部監査についても指摘を受けることはあるのか。

（病院） 指摘を受けることはある。

- (病院) 内部監査で他の部署を監査することで、自分の部署のことにも気づくことができる。相乗効果で全体が良くなる形が出来ている。
- (委員) 内部監査委員について、「一般職の3級職」とあるが、3級職の人数は。
- (病院) 3級職は30名程度いる。階級的には、これから監督職に上がる人である。
- (委員長) 内部監査不適合是正回数は、2回となっているが、1年間の回数で良いのか。
- (病院) 1年間の回数である。

### 3 患者サービスの向上

#### (2) 快適性及び職員の接遇の向上

- (委員) 新病院になり、待ち時間は長くなっているのではないかと。
- (病院) 新病院になり、待ち時間は長くなると思っていたが、実際は短くなっている。
- (委員) 自動精算機の検討はしないのか。
- (病院) 自動精算機は、経費がかなりかかる。24時間入退院をしているような病院は未収金対策のため行っているが、芦屋中央病院では費用対効果が見込めない。今のところ、導入は考えていない。
- (委員長) 10年前後するとキャッシュレスがさらに進むと思うので、先行して投資をしない方が良いと思う。
- (委員) 大学病院では、病棟のクランク段階で計算ができる。医師事務作業補助者を7名入れるのであれば、診療科ごとに会計が出来るようにすれば良いのではないかと。
- (病院) 医事業務の分散化について、検討はしているが、現在の会計システムでは対応していない。今後も検討していきたい。
- (委員長) 会計時の待ち時間だけでなく、診察の待ち時間も含んでいる。それぞれに定量化しないといけない。
- (委員) 診察について、予約と予約ではない部分があるが、統一はしないのか。
- (病院) 予約制度はメリットとデメリットがあり、患者が少ない場合は、順番に診察していく方がスムーズに進む。診療科によって、予約制度を導入している科とそうでない科がある。各科の状況が異なるため、統一するとうまくいかない可能性もある。
- (委員) 予約制度が成立するのは、紹介病院であり、歯科のように診察内容が同じような場合である。診察内容が多様化している場合は、完全に予約制度にすると混乱する。
- (委員長) 中期計画では、「待ち時間の短縮に努める」と記載している。待ち時間について、定量化しているものを、職員で情報共有してほしい。

(4) 地域住民への医療情報の提供

(委員長) 待ち時間のピークなどを見ることができると良いと思う。

(委員) ホームページのアクセス数は、アクセスカウンターを入れるとすぐに出来ると思う。

(病院) ホームページのリニューアルは、来年度の4月に予定している。

第5 その他業務運営に関する重要事項

(委員長) 実施計画では、使用期間、耐用年数、リース契約などが反映されて、買い替えなどの検討がされているのか。

(病院) 100万円以上の高額な医療機器について、前回の購入時期を記載し、必要性について審議する。

(委員長) 中期計画(案)について、意見に対する病院の考え方の説明を受けた。今回の中期計画(案)から変更がなければ、この内容で適当であるとするが、意見書は、書面審議が予定されているため、事務局からの連絡を待つこととする。

○議題(3) 第1期中期目標の期間の終了時の検討について

・事務局より、資料4 地方独立行政法人芦屋中央病院第1期中期目標の期間の終了時の検討について、説明。

(委員長) 資料5 意見書(案)の記載のとおり、意見を申し述べることとする。

(委員) 了承

○その他

・事務局より、政策会議及びパブリックコメントにより、第2期中期目標(案)を変更した箇所について、説明。

(委員長) 変更については、文言がより明確化され、体制にも影響ないと認めるが、評価委員会として、いったん適当であると意見書を出している。今回の変更を受けて、適当であるという意見は変わらないとしたいが、みなさまの意見はいかがか。

(委員) P1の前文で「提供し」が重複するため、「医療を提供し」から「医療に努め」と変更されているが、「良質で安全な医療に努め」となると、努力目標になる。「医療を提供し」の方が適切だと思う。

(委員) 「医療・介護・保健・福祉のサービスを一体的、かつ、体系的に提供し」の「提供し」は、「整備し」の方が適切だと思う。

(委員長) 「整備し」となると「サービス」の後には、「体制」を入れた方が良い。「医療・介護・保健・福祉のサービス体制を一体的、かつ、体系的に整備し、良質で安全な医療を提供し」に変更することで、評価委員会の意見とする。

- ・事務局より、パブリックコメントに対する意見について、説明。
- ・今後の中期計画及び評価委員会のスケジュールについて、説明。

(閉会)